

第9回沖縄科学技術研究基盤整備機構分科会 議事要旨

沖縄振興局新大学院大学企画推進室

日 時：平成20年8月21日（木）14：00～17：00

場 所：中央合同庁舎4号館 共用第2特別会議室

出席委員：平澤分科会長、遠藤分科会長代理、伊集院委員、長岡委員

議事概要

1. 大学院大学構想の進捗状況

7月30日に行われた第6回運営委員会において、運営委員により取りまとめられた将来の大学院大学の主な検討事項（青写真）について、事務局より説明がなされた（『大学院大学の青写真』（資料1））。

2. 独立行政法人整理合理化計画に対する対応状況

独立行政法人整理合理化計画（平成19年12月24日閣議決定）を踏まえた内閣府及び沖縄機構の対応について事務局より説明を行った（『独立行政法人整理合理化計画を踏まえた対応について』（資料2））。幾つかの点に関して、項目別評価表を検討する際に審議することとなった。

3. 平成19年度業務実績の評価

(1) 沖縄機構より追加説明

第8回分科会における各委員からの指摘事項等に対して、沖縄機構より追加説明がなされた（『セグメント情報（平成19年度）』（添付資料#41）、『独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構における監事監査実施状況』（添付資料#26E））。委員より以下の意見があった。

- 今後、より詳細なセグメント情報の作成が必要。
- 公表の必要性はないが、マネジメントの改善に資するため、詳細な管理会計情報を把握すべき。
- 監事監査については、適正な運営だけでなく能率的な運営の観点からも行う必要がある。

(2) 項目別評価表

『独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構平成19年度業務実績項目別評価表（案）』（資料3）について審議が行われた。委員より以下の点につ

いて意見があった。

- 国際ワークショップについて、アンケート結果より、特に講義内容を中心に参加者から高い評価を受けていることが確認でき、充実した内容であったと認められること、国際的な研究者ネットワークを充実させ、質の高い研究者の採用活動に資するものと考えられること等から、特に優れた実施状況と判断できる（A+）。
- 予算管理システムについて改善はみられるものの、今後、予算の執行状況の把握を容易にする等の観点から更なる改善が必要（B）。

その後、項目別の評価について分科会としての評価が決定され、最終的な文章の調整については分科会長に一任された。

(3) 総合評価表

『独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構 総合評価表（平成19年度業務実績）（案）』（資料4）について事務局より説明後、審議が行われた。最終的な文章の調整については分科会長に一任された。

4. 平成19年度財務諸表

当分科会として意見なしとされた。

5. 退職役員の業績勘案率

前理事の退職金の算定に関する業績勘案率について事務局より説明がなされた（『内閣府所管独立行政法人の役職退職金に係る業績勘案率について』（資料6）、『役職退職金に係る業績勘案率（案）について』（資料7）、『沖縄科学技術研究基盤整備機構理事の業績勘案率について』（資料8）、『沖縄科学技術研究基盤整備機構における公共調達のあるあり方』（資料9））。

（業績勘案率を1.0から0.9に変更する事について）社会一般の通念や、これまでの他独法における業績勘案率の例に照らし、厳格に過ぎるのではないかとの強い懸念が委員において示されたが、①全ての独立行政法人の運営において国民の信頼を回復することが喫緊の課題となっている、②「独立行政法人整理合理化計画」の策定等により、政府全体として、各法人における契約の透明性の確保や内部統制の強化等に強力に取り組む姿勢が強く打ち出されている、等の現在の状況を踏まえ、業績勘案率を変更することはやむを得ないが、今後、政独委においては、本件と爾後の事例との間で衡平が損なわれることのないよう、十分な情報収集と実質的な審議を基に厳正な判断が示されることを強く期待する旨、伝えるとの分科会としての結論に達した。